

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

| | |
|--------|--|
| 郵便振替 | 【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため |
| 郵便振替口座 | 【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため |

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



ストリートキッズの子どもたちが、自転車に乗って遊んでいます。(ザンビア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

6月の初旬に行われる総会に向けて、4月下旬に理事会が行われます。この理事会で新年度の活動案が決められ、総会で承認、というかたちになりますが、昨年度の活動を一望すると、様々な問題や困難があり、その一つ一つをよく解決出来たと、感慨深く思うことがしばしばあります。ただ一重に、皆さまの多大なる御支援、御協力あればこそであり、本当に感謝するばかりであります。

しかし、働きが進めば、それだけまた問題も多くなるもの、と言ってよろしいのでしょうか。今現在、ザンビアの自動車の修理費(約10万円)の支援要請がきております。つい先日、皆様のご支援によって購入したばかりであります。ザンビアの道路事情や、日々の走行距離などで、比較的、程度の良い中古の日本車ではありますが、さすがに痛みが激しいようです。私も北海道で年間数万キロを走りますが、当然、消耗品の交換やら故障等、手間がかかります。ザンビアでの働きのためには車は不可欠です。また、他の孤児院でも多くの必要があります。それ故只々、皆さまの御支援、御協力をお願いするばかりであります。どうぞこれからも、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。先月記させて頂きましたTRの中耳炎の手術は、3月末頃予定通り行われました。術後も予定通りに病院に1泊だけして、帰って来ることが出来ました。手術は、耳垂れが出ないようにする為のもの聞いていたのですが、本人からは以前より聞こえやすくなった、という嬉しい状況を聞いています。4月に入って、猛暑の暑い気候が続く中、今度は1人の女の子が突然高熱を出し始めたので、すぐに病院を受診したところ、デング熱かもしれないと言われました。デング熱は症状が出始めてから1週間前後経過してからでないと血液検査の結果には出て来ないので、熱が出てから5日目の3回目の受診でやっとデング熱ではないということがわかりました。高熱は扁桃炎によるものであるということがわかり、現在(4/13現在)熱はほとんど下がっていますが、薬の対応を続けているところです。4月中旬はお正月なので、学校も1週間~2週間の休みに入り、スタッフ達も交替で休暇を取っています。この期間、子ども達もスタッフ達も怪我や事故、病、悪い者からも守られて過ごせるようにと願っています。



中央右に座っているのが手術後のTRです

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン子どもたちに対する、皆様の継続的なご支援を心から感謝致します。2017年~2018年の学年が無事修了しました。就学支援生たちは、夢に向かって、希望に満ち、次の学年へ進級します。教育を受けられるということは子どもたちの将来を大きく変えます。もし、皆様のご支援がなかったら、子どもたちは誰にも気遣われることなく、見捨てられたままになっていたことでしょう。子どもたちの嬉しそうな輝く目を見ていると、この働きを続けて来て良かったという喜びに満たされます。4月4日には小学校から中学へ、中学から高校への進級式が行われました。また4月6日には高校の卒業式が行われました。今年度はスアワンから1名が中学を卒業し高校へ、ペクウェーノから1名が小学校を卒業し中学へ進みます。2018年度の新学期は6月からスタートします。来年度も子どもたち50名の就学支援をしていく予定です。高校生が4名、中学生が14名、小学生が25名、幼稚園生が6名です。この子どもたちの登録費、学費、学用品費などのために、合計6,789.92ドルが必要です。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



学校の卒業式の様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。この1月から料理専門学校に通い始めたテリースは、新しい環境で、新しい人々に囲まれながら、楽しく学んでいるようです。皆様のご支援、ご声援のおかげと感謝しております。ルサカ孤児院ではストリートキッズが増えに増えて、現在64人になりました。限界の人数を大幅に超えているのですが、コレラの流行以降、警察官がストリートキッズに非常に厳しい目を向けていて、その暴力から逃れるために、多くの子ども達が私たちの元へ避難してくるのです。1日3食の提供、医療、衣服の必要などが大きな挑戦としてわたし達日々挑まれています。その中であっても、子どもたちの精神的な成長は著しく、喧嘩することなどもほとんどなくなってきました。お互いに、愛し合い、励ましあうことの大切さを学んでいます。緊急の必要のもう一つは、車両に関してです。尊いご支援をいただいて、一台を購入することはできましたが、どうしてももう一台の車両を必要としています。その購入費用150万円、どうか皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



料理学校に通っているテリース

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援を心より感謝いたします。こちら日本はお花見のシーズン真っ盛りです。菜の花、梅や桜はじめ、色とりどりの花と美しい風景を堪能しております。ご心配をおかけしましたが、私の体調は完全によくなりました。さて、今月はブラジルでの法人設立と土地の法人名義での登録について相談するため、東京事務局のスタッフの方々と、新宿にある公認会計士の方の事務所を訪問しました。アジアを中心にメキシコやブラジルなど中南米にも展開しておられ、現地の会計士事務所とも関わりのある事務所です。ブラジルは法律や行政のシステムが非常に複雑で、理解しにくい所が多いのですが、それらについても最新の正確な情報が得られるのではと期待しています。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



松本スタッフと真境名総主事、手伝ってくださっている荻原さん